

2016 折込広告全国大会を開催

折込広告のパラダイムシフトを考える —未来に向けたオリコミの可能性を探る—



11月10日、11日の2日間、都市センターホテル(千代田区平河町)で「2016折込広告全国大会」が開催された。第31回の今回のテーマは「折込広告のパラダイムシフトを考える—未来に向けたオリコミの可能性を考える—」。10日の研修会の翌日行われた本大会は、全国の新聞折込広告関連会社158社約400人の参加を得て行われた。

11月11日の本大会は、「新聞の宅配網に支えられた新聞折込広告は日本特有の文化だが、新たな展開が求められている。未来に向けた大会になることを願って大会開催を宣言します」という大塚博之 大会実行委員長の開会宣言から始まった。

次いで、大会会長の佐々木進 日本新聞折込広告業協会理事長があいさつ。さらに、来賓として日本アドバイザーズ協会専務理事 鈴木信二氏、中日新聞社取締役 東京新聞販売局長 島直之氏、日本新聞販売協会会長 國吉延男氏があいさつ。地域にとっても、新聞販売店にとっても不可欠な新聞折込広告の新たな展開への期待が語られた。



大会実行委員長
日本新聞折込広告業協会
副理事長
大塚 博之



大会会長
日本新聞折込広告業協会
理事長
佐々木 進



日本アドバイザーズ協会
専務理事
鈴木 信二氏



中日新聞社 取締役
東京新聞 販売局長
島 直之氏



日本新聞販売協会
会長
國吉 延男氏



基調講演では、日本のwebコミュニケーションを牽引してきたアビームコンサルティングの本間充氏の講演が行われ、「マーケティングのデジタル化とトラディショナルメディアのこれから」のテーマで、新聞折込広告のこれからへの提言が熱く語られた。

アビームコンサルティング株式会社
デジタルトランスフォーメーションビジネスユニット
デジタルマーケティングセンター ディレクター
本間 充氏



11月10日の研修会では、株式会社電通 電通総研 メディアイノベーション研究部 研究主幹 北原俊行氏の進行で第1部に事例報告が行われ、日本印刷技術協会 主幹研究員 研究調査部長 藤井健人氏から「印刷会社が取り組む地域活性ビジネス」、株式会社グリーンストーリープラス 代表取締役 林 真由氏から「北海道食べる通信～十勝毎日新聞社が取り組む新しい地域メディアの意義」の発表が行われた。第2部には北原氏にモデレータを務めていただき、第1部の藤井氏、林氏と株式会社三越伊勢丹マーケティング戦略部 宣伝広告担当 寺島 篤氏、株式会社商業界 編集長 笹井清範氏を交えてパネルディスカッションが行われ、「新聞折込広告の新たな可能性を求めて」として様々な事例を紹介しながら議論された。



モデレータ
株式会社電通
電通総研 メディアイノベーション
研究部 研究主幹
北原 利行氏



株式会社三越伊勢丹
マーケティング戦略部
宣伝広告担当
寺島 篤氏



株式会社商業界
編集長
笹井 清範氏



公益社団法人日本印刷技術協会
主幹研究員
研究調査部長
藤井 健人氏



株式会社グリーンストーリープラス
代表取締役
(十勝毎日新聞社 東京支社次長)
林 真由氏